

## 研究実施に関する情報公開

当学会では、下記の研究を実施しています。

この研究のために貴施設の情報を使用されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。

研究課題名	褥瘡実態調査結果の経年変化分析
研究機関名	日本褥瘡学会 実態調査委員会
研究責任者	日本褥瘡学会 実態調査委員長 紺家千津子
研究期間	2020年12月～2021年9月
対象	当学会にて過去4回の実態調査にて得た情報
当該研究の意義・目的	<p>当学会は、過去に4回の大規模な褥瘡の実態調査を行ってきたが、統合した分析はなされていません。そこで、これらの情報を基に、実態の推移の傾向と要因を把握するために分析を行うことを本研究の目的とします。</p> <p>本研究の意義は、これまでの褥瘡予防・管理状況の評価、並びに今後の課題を見出すことにつながります。</p>
方法および研究で利用する試料・情報について	<p>この研究のために、新たな調査が追加されることは一切ありません。過去4回の実態調査時に提供された情報を使用させていただきます。</p> <p>1) 施設情報</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・病院：病院の種類、許可・平均稼働病床数、標榜科目数、平均在院日数、入院患者数、日常生活自立度B・Cランクの入院患者数、皮膚・排泄ケア認定看護師・ET数、特定行為のできる看護師数、褥瘡関連の加算に関する施設基準の届出状況、褥瘡患者数、医療関連機器圧迫創傷患者数</li><li>・介護保険施設：施設の種類、入所定員数、平均入所日数、入所者数、日常生活自立度B・Cランクの入所者数、入所者の各要介護度該当者数、皮膚・排泄ケア認定看護師・ET数、特定行為のできる看護師数、褥瘡患者数、医療関連機器圧迫創傷患者数</li><li>・訪問看護ステーション：訪問看護登録者数、訪問看護実登録者数日常生活自立度B・Cランクの実登録者数、実登録者の各要介護度該当者数、皮膚・排泄ケア認定看護師・ET数、特定行為のできる看護師数、褥瘡患者数、医療関連機器圧迫創傷患者数</li></ul> <p>2) 患者情報</p> <p>疾患名、年齢、性別、健康障害のレベル、日常生活自立度、要介護度、褥瘡部位、褥瘡が発生した場所、褥瘡の病変、使用している体圧分散寝具、体位変換時間、栄養状態、局所治療計画、褥瘡対策危険因子、褥瘡ハイリスクのカテゴリー、発生要因</p>
個人情報の開示に係る手続き	分析に使用する情報には、施設を特定できる情報は含まれていません。
資料の閲覧について	分析結果は、日本褥瘡学会の学術集会や学会誌等で公表されます。
問合せ先	<p>その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。</p> <p>(株)春恒社学会事業部内 日本褥瘡学会事務局</p> <p>〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル</p> <p>E-mail: jokusou@shunkosha.com</p> <p>TEL:03-5291-2170 FAX:03-5272-1631</p>

作成日： 2020年10月15日